



学校だより

福生一小ホームページ <http://fussa-1e.hs.plala.or.jp/>

10月10日からホームページが新しくなります <https://fussa-1e.hs.fussa.school/>

令和5年9月29日

10月号

福生市立福生第一小学校

校長 高瀬 智子



努力の大切さ

校長 高瀬 智子

2学期が始まり、子どもたちは、運動会に向けて練習を行ってきました。今年は、昨年度に増して暑い日が多く、運動会の練習も熱中症に気を付けながら、進めてきました。子どもたちは、練習を重ね、本番で力を出し切ろうと頑張っています。明日の運動会では、子どもたちの頑張る姿に温かい声援をお願いいたします。

9月9日の学校公開では、多くの方に参観いただきました。アンケートからは、「1学期に比べ、落ち着いてきている。」「楽しそうに学んでいる。」「話し合い活動で、互いの意見を聞き合っているのはよい。」などの子どもたちの姿からの感想や教員への感謝等の言葉をいただきました。これからも、身に付けるべきねらいに即し、「分かって楽しい。」「できるようになった。もっと、やってみたい。」という思いがもてるよう授業の工夫をしていきます。

さて、先日ですが、脳科学者の茂木健一郎氏の講演を聞く機会がありました。学校での学びに関するお話でしたが、その中で、AIの発達により、様々なことが行えるようになってきていること、また、様々な情報があふれており、中には、フェイクニュースのようなものも存在するようになってきていること、そういった中では、「判断能力」や「決断能力」が大事になるということでした。また、判断したり、決断したりするには、そのために必要な知識をもつことが大切であるという内容でした。

これからの社会は、さらに情報を見極めることが一層大切になってくることと思います。基本的な知識が十分でないままでは、なかなか判断・決断するというのは難しくなります。知識を得た上で、それを使って考えていくという力が必要です。

小学校での学びは、これから子どもたちが様々なことを判断していく基礎に当たるものです。また、小学校段階から、自分から学んでいくという態度や姿勢を付けていくことも大切です。学び、そして、自分の力を身に付けていくには、当然、努力も必要となります。「継続は力なり」ということわざがありますが、努力したことは、自分の力として身に付いていきます。また、努力を続けられたということ自体が、自信へとつながっていきます。努力の大切さを感じられるようにするとともに、子どもたちには、将来、自分が進みたい道に進んでいく、選んでいくことのできる力を付けてもらいたいと考えます。

学校では子どもたちには、励ましながら指導をしていきますが、御家庭でも家庭学習への励ましや、日常生活においても、自分から、知ろう、関わろうという気持ちにつながるよう、お子さんへ声掛けをしていただくようお願いいたします。

今後、全体では、音楽会、そして創立150周年の記念式典があります。また、各学年は、5年生は名栗移動教室、6年生は市の音楽会、また、その他の学年も社会科見学等の学習があります。日常生活を大事にし、一つ一つ子どもたちの成長につながるようにしてまいります。学校の教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

学び続ける

福生第一小学校では、教職員が教師としての力をさらに伸ばしていくために、校内でOJT等の研修をしています。担当の教員が講師となり、教科指導、特別支援教育等、学校の業務に係る様々なことについて学び、子どもたちへの教育が充実するよう努めています。



(理科の実験、薬品等の適切な扱いや準備について)



(福生市における特別支援教育について)



(特別支援教育、子どもたちへの分かりやすい指示等について)